

## サイバー都市計画

飯倉 弘一

PFU

厚木市商店会連合会 街づくりプロジェクトチーム

地方自治体を中心に都市計画が進められるように、インターネット上にもサイバー都市計画が世界の都市で進められている。厚木市では、商店会連合会の主導で、「厚木ポータルサイト」の構築に挑戦を開始した。私は、このプロジェクトに参加し、構築モデルの作成を支援しており、このモデルと、プロジェクト立ち上げにおける課題を報告する。

## Cyber-City Planning

Koichi Iikura

PFU

City Revitalization Project Team of the Atsugi Shopping Union

As city planning is advanced by local self-governing bodies, cyber-city planning is also advanced in urban cities of the world. In Atsugi city, the Atsugi Shopping Union started the challenging project to establish "Atsugi Portal Site" on the Internet. I have participated in this project and supported creating the structure model of this site. I report this model and problems to be solved at the start of the project.

### 1. はじめに

地方自治体を中心に都市計画が進められるように、インターネット上にもサイバー都市計画が世界の都市（サンディエゴ、サンフランシスコ、ヘルシンキ、大阪市など）で進められている。

厚木市もインターネットを使用して、情報公開、施設予約、図書館蔵書検索といったサービスを提供しており、公共の場にインターネット端末が設置され、基盤が整備されてきた。

厚木市には、開発工場や製造工場（工）が多く、民間の研究所や大学（学）も集まっており、市街地には大きな商店街（商）があり、その周りには比較的新しい住宅地や団地（住）と田畑（農）が広がり、郊外にはちょっとした観光地（温泉やハイキング・コース）もある。

現在、厚木市では、商店会連合会の街づくりプロジェクトチームを中心に「厚木地域ポータルサイト」の構築計画が進められている。これは、住人、商店、企業、大学、学校、地方自治体のコミュニケーションの円滑化と地域の活性化を目的にしたプロジェクトを目指し、産、学、官、民が協調して構築していくことに挑戦するものである。私も、住人として、（地方自治体に頼ることなく）商店会連合会主導で開始された、このプロジェクトに参加し、e-ビジネスカードと連携したGIS（地理情報システム）およびe-チラシ配信サービスを提供する、「厚木ポータルサイト構築モデル」の作成を支援している。

### 2. 背景

私は、翻訳書を出版するときに、これまで5名のPFUのOG（結婚退職者）に翻訳を協力頂いているが、主婦は、報酬だけでなく、ライフスタイルとして家庭で知的な仕事をするのを望んでいることを

実感しており、また、リタイアされた方も自分のスキルを活用して、社会に貢献したいのではないかと考えている。この場合、仕事の依頼主と直接打ち合わせる必要も出てくるので、ネットワークが発達した今日でも、ある程度の地域性が要求される。

また、近所の方から、「ボランティアで厚木市周辺の住人向けに映画を上映しようとしています、ホームページ (HP) を作るのにはどうすればよいでしょう」と質問を受け、私は、簡単に説明はしたが、「個人の HP を市民が見る確率は 0 に近く、市役所にお問い合わせはどうでしょうか」と提案したことがある。ちなみに、妻は、市営テニスコートの予約と市立図書館の蔵書検索にしか、インターネットを利用していない (<http://www.city.atsugi.kanagawa.jp/>)。

このような背景で、私も以前から、「地域ポータルサイト」というものがあると便利だと考えていた。そして、あるとき、地元の CATV 会社の方とお話する機会があり、私が考えていた地域ポータルサイトを構築して頂けないか相談を持ちかけた。その方は、かなり興味を持たれ、市役所、商店会、第 3 セクターなどへ働きかけてくださり、この結果として、厚木市商店会連合会を母体とし、街づくりプロジェクトチームを中心とした「厚木ポータルサイト構築プロジェクト」が 5 月 28 日に発足された。

### 3. 構築モデル作成の参考にしたサイト

下記の地域ポータルサイトを参考にし、「厚木ポータルサイト構築モデル」を作成した。

#### (1) サンディエゴの SanGIS : <http://www.sangis.org/>

サンディエゴの道路、各種施設、ユーティリティ、都市計画などの情報を、地図上でビジュアルに検索して参照できるようにする、GIS (地理情報システム) を提供している。

#### (2) サンフランシスコの Digital Community Network : <http://www.415forum.com/>

サンフランシスコ地域の市民、商店、企業間の物理的、環境的バリアを排除して、社会生活の質を向上させるために、地域全体がローカルな情報をインターネットで活用できるようにする。これを有効に実現するための手段として、各自が、公開したい自分の情報を、e-ビジネスカード定義フォームのフィールドに設定することにより、容易に作成でき、さまざまなキーワードで検索されるだけでなく、GIS とも連携された、WebCard と呼ばれる e-ビジネスカード・サービスを提供している。

#### (3) ヘルシンキの Arena 2000 : <http://www.arenanet.fi/>

マルチメディア (3次元グラフィック、航空写真、パノラマ写真、ビデオ、GIS など) を活用し、ヘルシンキ市の現在と未来を仮想的に体験できる都市をサイバー空間に建設しており、音声で会話したり、買い物をしたり、絵画を鑑賞したり、ビデオを観たりできるようにする。

#### (4) ヨハネスブルグの Africam : <http://www.africam.com/>

自然な生息地にいる野生動物を地上カメラや水中カメラで撮影した映像を生中継し、世界中の人に、ヨハネスブルグへ行くことなく、野生動物の生態を観察できる機会を提供する。

#### (5) ギリシャの Rebetika : <http://www.forthnet.gr/rebetiko/>

西洋文化がオリент文化と合流する Diaspora の rebetiko 音楽に関する情報をいくつかの形態で提供し、近代のギリシャの歴史を学んだり、rebetiko 音楽を聞いたりできる。

#### (6) ベネゼーラの Orinoco Online : <http://www.orinoco.org/>

ベネゼーラの文化遺産の保護、学習、広報などの活動を推進するために、Fundaci Cisneros は、文化

遺産に関連する、情報検索データベース、詳細な記事、マルチリンガル（4カ国語）なマルチメディア小辞典などのサービスを提供している。

(7) 西成区の紹介：<http://www4.media.osaka-cu.ac.jp/TAO-Nishinari/TopPage/TopPage.html>

通信・放送機構（TAO）が、大阪市と連携し、大阪西成実験センターとCATV網で接続した地域情報システムを展開し、大阪西成地域の暮らしに役立つ「地域情報提供サービス」、保険や福祉の相談事業を支援する「在宅高齢者・障害者支援情報サービス」などを提供している。

#### 4. 構築モデルのフレームワーク

厚木ポータルサイト構築プロジェクトに提案した構築モデルのフレームワークを以下に示す。

- (1) 意義：地域の利用者（住人や組織）に対する利便性の向上と経済、文化、社会の活性化
  - (a) 利用者は地域のあらゆる生活やビジネスに関連した情報やサービスを有効に活用できる。
  - (b) 地方自治体、企業、商店、教育機関などは利用者にも有効な情報やサービスを提供できる。
  - (c) 地方自治体、企業、商店、教育機関などと利用者のコミュニケーションを円滑にする。
  - (d) 利用者間でのコミュニケーションや交流を円滑にする。
  - (e) 地域性のある新たなビジネスや教育手段を創造可能な機会（基盤）を提供する。
  - (f) パーナー広告料やe-チラシ配信料で、広告代理店的なビジネスを展開できる。
  
- (2) 目標：産学官民をシームレスに融合した地域型サイバー・コミュニティを構築し有効に活用
  - (a) ローリスクを狙い、産・学・官・民共同プロジェクトとする（頭脳や資金の供給）。
  - (b) 産（工・商・サービス業）・学（大学、学校）・官（自治体）・民（市民、学生）を結ぶ。  
【誰でも、何時、どこから（家庭、屋外、公共施設、学校、大学、企業など）でも利用可能】
  - (c) BtoC、CtoC、GtoC、GtoB、EtoC、EtoS、EtoEで活用できるようにする。  
【B：Business、C：Consumer（Citizen）、G：Government、E：Education、S：Student】
  
- (3) 情報とサービス：地域性のある情報やサービスの提供と有効な活用がポイント
  - (a) 地方自治体
    - i. 行政情報：動態統計、都市計画(\*)、行政機関、公共施設(\*)、観光(\*)、催物、交通状況(\*)
    - ii. 行政サービス：証明書の発行、職安の手続、図書や行政資料の検索、公共施設の予約(\*)
    - iii. デジタル・アーカイブ：文化財を静止画像、音、動画などのデジタル情報として保管し公開
    - IV. コミュニケーション：行政への要望、意見、問題などを話し合う（テーマ別）フォーラム
  - (b) 公共的組織
    - i. 公共情報：駅(\*)、バス停(\*)、駐車場(\*)、病院(\*)、大学(\*)、学校(\*)、お知らせ、天気
    - ii. 公共サービス：ユーティリティの利用登録・変更・解約手続、課金状況情報の参照
  - (c) 商店街
    - i. ショッピングガイド(\*)：バーゲン、配達サービス、e-ビジネスカード、e-ショッピング
    - ii. 飲食店ガイド(\*)：予約サービス、出前サービス、e-ビジネスカード
    - iii. プレイガイド(\*)：映画、コンサート、試合などの情報、チケット予約サービス

- iv. 娯楽ガイド(\*) : ゲーセンやパチスロなどの催物や利用状況の情報、e-ビジネスカード
- vi. 宿泊 (ホテルや旅館) ガイド(\*) : 催物情報、予約サービス、e-ビジネスカード
- vii. コミュニケーション : 商店 (街) の評判などについて話し合う (テーマ別) フォーラム

(d) 企業

- i. 企業ガイド(\*) : e-ビジネスカード (企業の HP へリンク可能)
- ii. SOHO 支援サービス : グループウェアなどのアプリケーション・サービス

(e) 家庭 (個人)

- i. 個人的紹介 : e-ビジネスカード (個人の HP へリンク可能)
- ii. 情報交換 : e-掲示板サービス
- iii. コミュニケーション : 趣味などを話し合う (テーマ別) フォーラム
- iv. インスタント・メッセージ : チャット (おしゃべり) サービス
- (f) チラシ配信サービス : e-チラシを e-メールで希望者に配信 (広告主の選択可能)
- (g) ニュース配信サービス : e-タウン誌を e-メールで希望者に配信 (出版元の選択可能)
- (h) 電子媒体配信サービス : 音楽やビデオなどをオンデマンドで配信

【(\*) : GIS (地理情報システム) を使用して検索できるもの】

(4) 構築と運営 : 効率的な開発と運営、価格性能比、投資利益率を考慮

- (a) ポータルサイト構築ソフトウェアの活用 : e-ビジネスカード、検索エンジン、e-メール配信、フォーラム、掲示板、チャットといったサービス・モジュールを提供し、GIS や e-コマースといったシステムやサービスと連携できる、オープンで拡張性があるポータルサイト構築ツール (たとえば、TeamWare Group の TeamWare Pl@za) を活用する。
- (b) アプリケーション・サービス・プロバイダ (ASP) の活用 : 高性能、大容量、24 時間ノンストップ、高セキュリティなインターネット・データセンター (IDC) で動作する、運用管理が容易なポータルサイト構築・展開・維持・管理アプリケーション・ソフトウェアを借りて使用する。

5. モデルの主なサービス要素

提案した「厚木ポータルサイト」では、第3章の「(2) サンフランシスコの Digital Community Network」の中核サービスである「e-ビジネスカード: WebCard」の概念を採用した。Digital Community Network は、ポータルサイト構築ツール TeamWare Pl@za を使用して開発されている。

「厚木ポータルサイト」のモデルにおける、e-ビジネスカード (オブジェクト) のプロパティ (クラスの属性) を以下に示す。

[[「個人と法人の区別\*」, 「郵便番号」, 「住所」, 「名前あるいは法人名\*」, 「電話番号」, 「Fax 番号」, 「e-メール・アドレス」, 「分類 (大分類と小分類) \*」, 「タイトル (題名) \*」, 「HP へのリンク (URL)」, 「紹介文」, 「添付画像」, 「e-チラシ配信の有無\*」] 【\*は設定必須プロパティ】

利用者 (個人や組織) は、e-ビジネスカード定義フォームのフィールド (プロパティに対応) に、公開したい情報 (インスタンス) を設定するだけで、自分の e-ビジネスカードを容易に作成できる。これ

により、利用者は、自分でHPを作成することなく、ポータルサイトにプレゼンスを確立できるようになる。e-ビジネスカードは、プロパティ（名前、分類、タイトル、紹介文など）でキーワード検索でき、e-ビジネスカード出力フォームで参照できる。

#### (1) e-ビジネスカードと GIS

利用者は、e-ビジネスカードを、プロパティでキーワード検索できるだけでなく、GISを使用して視覚的に検索することもできる。GISの地図上に表示するe-ビジネスカードに対応したアイコンの位置は、[郵便番号]と[住所]の値から自動的にマッピングされる。

利用者は、GISで[分類]の値を選択することにより、該当するe-ビジネスカードに対応した店舗や会社の場所をアイコンとして地図上に表示し、さらに、目的の店舗や会社のアイコンをクリックすることにより、そのe-ビジネスカードのプロパティの情報を取得できる。

たとえば、[分類]メニューから「医療機関」の「内科」を選択すると、該当する内科医院が地図上に小さなアイコンとして表示される。それから、利用者は、利便性（都合）のよい地区の地図をズームインさせることにより候補となる内科医院の位置を知ることができる。さらに、特定のアイコンをクリックすることにより、その医院のe-ビジネスカードを出力フォームで表示させ、詳細な情報（電話番号、e-メール・アドレス、診療時間など）を知ることができる。また、選択した医院がHPを持っていれば、e-ビジネスカード内のリンク（URL）をクリックすることにより、そのHPにジャンプできる。

#### (2) e-ビジネスカードと e-チラシ

利用者は、e-ビジネスカードのプロパティの値（分類、タイトル、紹介文など）でキーワード検索を行い、自分の嗜好や目的に合った店舗や会社などを選択し、これらの店舗や会社が発行するe-チラシの配信を申し込むことができる。また、利用者は、e-チラシの配信をいつでも解約ができるので、スパム・メールによる迷惑を軽減できる。

e-チラシにより、広告主（配信元）は、タイム・サービスなどの情報を随時送信することができるので、登録した利用者に対し新鮮な情報を効率的に提供できるようになる。これは、携帯電話でe-メールを利用しているユーザに特に効果的である。

広告主（配信元）は、文字だけのe-メールだけでなく、添付ファイルあるいはURL（Webへのリンク）を持つe-メールを送ることにより、紙のチラシと同程度あるいはそれ以上の情報も配信できるとともに、予約や発注といった付加価値サービスも提供できる。

### 6. プロジェクトの立ち上げにおける課題

「厚木ポータルサイト」構築プロジェクトの立ち上げにおける課題を以下に示す。

- (1) 意識合わせ：何がしたいのかを明確に方向付け、メンバー全員や母体のベクトルを合わせる事が重要である。ビジネスを指向するのであれば、「ビジネスモデル」を確立し、法人を設立することも考える。広告代理店のようなビジネスになるだろう。
- (2) ポータルサイトの役割：「地域」ならではの強みを持ち、使いやすく便利で役に立つ、魅力的なポータルサイトにしなければならない。目的や対象を定め、何（サービスやコンテンツ）を目玉にし

て、賛同者を集め、利用者を惹きつけていくかを考え、常にフィードバックを行い、洗練させていくことが要求される。賛同者や利用者が満足する「厚木サイバー・コミュニティ」を運営するには、相当の経験やエネルギーが必要になる。

- (3) 目標の設定：最初から完全な地域ポータルサイトを構築するのは不可能なので、段階的な目標を設定し、優先順位（たとえば、商店街の活性化）を持たせ、開設時に提供するサービスやコンテンツを決定し、アクションアイテムを整理しなければならない。ポータルサイト構築ベンダーとの交渉、賛同者（広告主）への説明、市の補助金獲得への活動などを並行に進めていかないと効率が悪い。
- (4) 組織作り：プロジェクトの推進やポータルサイトの運営のために、どのような組織を作り、どのように活動していくか。必要に応じ、大学などの有識者や専門家の頭脳やパワーを活用することも考えていく。
- (5) 活動の効率化：プロジェクトのメンバー同士のコミュニケーションを円滑にし、活動を効率化させるために、グループウェア・アプリケーション・サービスを利用していく。

## 7. おわりに

確固とした基盤や組織もなく、資金（スポンサー）のあてもなくスタートしたプロジェクトであるが、議論を通して、メンバーの意識や理念は確立されてきた。早稲田商店街の活動は注目され、全国の商店街の賛同を得ているが、やはり、このようなプロジェクトには、構想力と実行力のある、インターネットの有効な活用方法を知り尽くしたリーダーが必要である。

また、本稿の題名をあえて「サイバー都市計画」としたのは、市民による草の根的な活動だけでなく、地域を発展させる使命のある「地方自治体」が果たすべき役割も重要ではないかと考えているからである。しかし、地方自治体が主体になると、市民の活動に何らかの制約がでると危惧する意見もある。

来年に、「厚木ポータルサイト」の活躍ぶりを発表できれば幸いである。

最後に、厚木ポータルサイト構築プロジェクトのメンバー、および、大阪市西成地区の活動を紹介してくださった大阪市立大学の中野教授、ご示唆くださった神奈川工科大学の小宮教授、その他、宮崎氏、亀谷氏、大野氏を含む関係者各位に感謝する。